## 令和5年度 年間指導計画

B植物6

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科 業と情報 単位数 2 学年・学科 2学年・B科

教利	斗 農業	科目	農業と情報	ł	単位数	て 2   学年·学科   2学年·B科		
教科:	書 実教出版「農業と情報」 副			副教材	実教出版「事例でわかる情報モラル&セキュリティ」			
学習目標	<ul><li>○社会と農業における情報の意義や役割を理解します。</li><li>○情報処理に関する基礎的な知識・技術を習得し、農業情報および情報全般について主体的に活用する能力態度を身に付けます。</li></ul>							i用する能力態度を身に
24								

○文書作成、プログラミング、プレゼンテーション等のソフトウエアを実際に操作しながら学びます。

習

方

法

○情報の利用方法と情報モラルを理解します。

		評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
		計画の観点	計画の観点の極目	于州	里の刊り	考査	考査以外
		知識·技能	/ I 〉 k	前期中間	40 %	20	20
	а		(1) 情報に関する基本的な知識が身についている。 (2) 基本的なPC操作を習得している。	前期末	40 %	20	20
	u		(3) 情報機器や情報通信ネットワークの活用が食品製造や 流通に果たしている意義や役割を理解している。	後期中間	40 %	20	20
学			mazi sinire ti o dia ti kase zini e ti oli	後期末	40 %	20	20
習			/1) 曲光棒却に明ナフ細筋ナ日のは、細木のがかナナフラレ	前期中間	30 %	10	20
200	h		(I) 農業情報に関する課題を見つけ、調査や研究をすることができる。	前期末	30 %	10	20
評	b		(2) 調査や研究したことを、発言・発表・レポートにまとめることができる。	後期中間	30 %	10	20
価				後期末	30 %	10	20
		主体的に学習に取り組 む態度(意欲)		前期中間	30 %	10	20
			<ul><li>(I)情報に関する学習に意欲的にかかわっている。</li><li>(2)情報化社会や農業への応用について考えることができ</li></ul>	前期末	30 %	10	20
	C		(2) 情報化性云や長来への応用に パ・(考えることがくさる。	後期中間	30 %	10	20
				後期末	30 %	10	20

学期	単 元 名	学 習 内 容 (小単元)		評価の観点		単元の評価規準	評価方法
于州	(題材)			b	С	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	計画刀石
	第1章 私たちの生活と 農業の情報化	Ⅰ 情報社会とモラルについて 学びます。	0	0	0	a:農業の情報化やモラル等に対する理解している。 b:情報化に対する主体的な考察	(a) 考査、レポート、観察 (b) レポート
前		2 農業を支える情報について 学びます。	0	0		c:学習状況・課題等への取り組み が意欲的である。	(c)成果物·観察
期中間	第2章 社会を支えるコ ンピュータ	3 情報通信ネットワークについ て学びます。	0	0	0	a:コンピュータのしくみに対する理解。基本的な操作ができる。 b:データや情報の表現ができる。	(a) 考査、レポート、観察 (b) レポート
		4 インターネットのしくみについ て学びます。	0	0	$\cap$	c:学習状況・課題等への取り組み が意欲的である。	(c)成果物·観察
		5 情報セキュリティについて学 びます。	0	0	0		

	第3章 コミュニケーショ					a:各ソフトウェアの特徴や機能に関	(a) 老本 しせー
	\$3章 コミューケーションと情報デザイン	I 文書の作成と表現について 学びます。	0	0	0	は、谷フノドソエアの特徴や機能に関する理解、基本的なスキルを習得している。 b:各ソフトウェアの特性を理解した	ト、観察 (b)レポート、成
		2 データの集計と視覚化について学びます。	0	0	0	のは、 分析と表現ができる。 c:学習状況・課題等への取り組み 状況が意欲的である。	(c)成果物、観察
前期末		3 プレゼンテーションについて 学びます。	0	0	0		
		5 情報発信について学びます。	0	0	0		
		6 問題解決の方法について学 びます。	0	0	0		
	第4章 スマート農業への展望 第5章 農業情報の分析と活用	スマート農業のめざす将来 について学びます。	0	0	0	a:情報システムの種類と特徴、計測制御メカニズムなどを理解している。 b:AIやロボットの可能性を考察している。 c:学習状況、レポート記述、課題への取り組み状況が意欲的である。	(a) 考査、成果物、観察(b) 成果物、レポート(c) 観察、レポート, 成果物
		2 計測と制御について学びます。	0	0	0		
		3 リモートセンシングとGISに ついて学びます。	0	0	0		17、风木彻
後 期		4 人工知能について学びます。	0	0	0		
中間		I 農業情報の収集と分析について学びます。	0	0	0		物 (b)成果物、レ ポート
		2 農業生産や経営情報の分析 と活用について学びます。	0	0	0		
		3 環境に関する情報の分析と 活用について学びます。	0	0	0	v/4A7/h丘の1A/U41 忌切(り(の)る。	11、风木彻
		4 食品や地域資源に関する情報の分析と活用について学びます。	0	0	0		
後期末	第6章 農業学習と情報活用	Ⅰ 農業学習と情報活用について学びます。	0	0	0	a:プロジェクトの四段階の理解と得られた情報の適切な処理ができる。	物、観察 (b)成果物、レ
		2 プロジェクト発表と情報発信 について学びます。	0	0	0	b:プロジェクトを実施し、その結果 を評価できている。 c:学習状況、レポート記述、課題へ	ポート (c)観察、レポー ト、成果物
		3 データの視覚化と分析について学びます。	0	0	0	の取り組み状況が意欲的である。	